

[1] 新会長挨拶

立川 康人

皆さんこんにちは。ただ今、令和7年度の新会長に推挙賜りました立川でございます。先程ご紹介いただきましたように、私は昭和62年学部卒、平成元年修士修了です。



先ず初めに、地球系三専攻、地球工学科の様々な活動に対しまして、普段から様々なサポートを京都大学土木会から支援いただき大変有り難く思っております。京土会会員の皆様方に改めてお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

この1年間、京土会の運営に尽力されました川崎会長、会計監査監事の水谷様、宮本様、企画特命幹事の渡瀬様、全国18支部の代表の皆様方、椿の会の幹事の皆様方、評議員の皆様方、また、原田幹事、田中幹事、安原幹事、京土会事務局の大藪様には大変お世話になっております。心よりお礼を申し上げます。

2年前の4月より工学研究科長・工学部長を拝命し今年度で3年目となります。大学は、学生にとってこれまで受けてきた教育の場と社会との間にあって、両方の動きに対応しながら様々に常に変化し続けています。この数年間は、特に大学は大きな変化の機会を与えられていまして、日本中の大学がその大きな動きの中にいます。この状況を最初に少しご紹介申し上げます。

それは国際卓越研究大学制度というものです。第2期の申請締め切りが5月16日であり、全国から8大学の申請がありました。国際卓越研究大学制度というのは、世界最高水準の研究大学の実現に向けて、大学はこれからどのような成長を遂げていくのかという成長戦略を示して、研究や教育、経営に関して体制を強化すべく、変革していく制度です。第一期で採択をされたのは東北大学のみでした。東北大学は昨年の11月に国際卓越研究大学として認定され、12月にその計画が文部科学大臣に認可されました。報道によりますと、東北大学は昨年度、154億円が交付されたということです。

京都大学も湊総長のもとで体制強化を進めているところ

です。この計画が最終的に認可されましたら、次年度から最長25年間の計画で体制強化を進め、この3年間の間にデパートメント制という新たな研究体制に移行する予定です。京都大学の信条である「自由の学風」のもとで新たな価値と高度な人物を生み出し続けて、世界中から多様な学生、研究者、技術者が集う国際的な「知の拠点」となるべく体制強化を進めていくことになります。

国立大学法人の運営方針を監督するために、昨年より運営方針会議という会議体を設置することが国立大学法人法で定められ、昨年の10月1日に施行されました。この運営方針会議は、運営方針委員と総長とで組織される国立大学の運営における最高意思決定機関であり、大学の運営方針に関する事項について議決するとともに、その議決した内容に基づいて大学の運営が行われているかを監督する責任ある会議体です。この運営方針会議は学外委員6名、学内委員4名、それと総長とを合わせて11名で構成されますが、その学外委員の1人として、澤田純京土会東京支部長が就任されておられます。

澤田様は、京大土木の昭和53年卒でいらっしゃいます。先日、東京で開催されました東京支部総会に参加する機会があり、澤田様とお話ししましたところ、すでに3回、運営方針会議が京大の本部等で開かれたということで、京都大学の国際卓越研究大学構想についてもご意見をいただいているとのことでした。京土会の会員が京都大学の最高議決機関の正式なメンバーとして入っているというのは、京土会にとって誇らしいことです。澤田様のご尽力に心より感謝する次第です。

こうした京都大学の全体の動きの中で、我々、土木工学、環境工学を専門とする京土会の関連専攻におきましても、さらなる発展を遂げるべく岸田教授、高橋教授を中心に組織改革、教育改革の準備を進めているところです。社会基盤整備の仕事に誇りを持って取り組む、能力の高い技術者・研究者を社会に送り出すことが、京土会関連専攻の最も重要な責務と思っています。地球温暖化、人口減少、少子高齢化、さらにはインフラ施設の高齢化が進む中で、我が国が将来に渡って発展し続ける計画を立案し、大型構造物の新造、維持・管理に関する技術開発を進めて、様々な分野の科学技術を総合して社会を牽引すること、そして安全で健康な質の高い持続可能な社会の実現に貢献することが、総合工学である土木工学、環境工学を専門とする我々の使命と考えているところです。

人と社会を動かす高い能力を持つ人材を育成し、それらの人々が現場で生き生きと働き、我が国、世界の発展に寄与することの根幹に京都大学土木会があります。「土木工学の発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的とする」という京都大学土木会の目的が達成されますように、この一年間、頑張って参ります。特に学部生が土木工学や環境工学という分野こそが、やりがいのある重要な分野であることを認識するような、機会・企画を実施して参りたいと思います。

先程の役員会でご指摘がございました，中長期的な京土会のあり方につきましては，10年，20年先を見て長期的な計画を作り，次年度にお諮りするという形で進めることが

できればと思っています．この1年間，幹事の皆様と頑張っ
て参りますので，どうぞよろしくお願い致します．本日は
ありがとうございます．